



S.Naka

THE KYOTO KINEN

第118回 農林水産省賞典 京都記念 (GII)

1 着  
本 賞 62,000,000円  
付加賞 854,000円

2 着  
25,000,000円  
244,000円

3 着  
16,000,000円  
122,000円

4 着  
9,300,000円

5 着  
6,200,000円

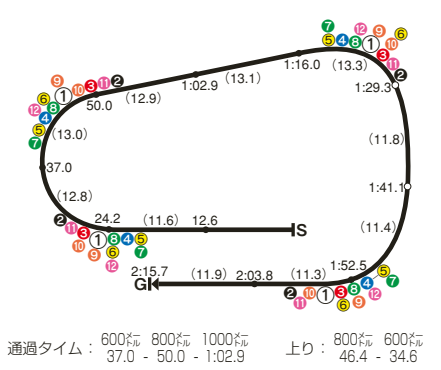
レース映像は  
コチラでご覧  
いただけます。

4歳以上、除未出走馬および未勝利馬  
負担重量 4歳56<sup>kg</sup>・5歳以上57<sup>kg</sup>、牝馬2<sup>kg</sup>減、2024.2.10以降GⅠ競走(牝馬限定競走を除く)1着馬2<sup>kg</sup>増、  
牝馬限定GⅠ競走またはGⅡ競走(牝馬限定競走を除く)1着馬1<sup>kg</sup>増、2024.2.9以前のGⅠ競走(牝馬限定  
競走を除く)1着馬1<sup>kg</sup>増(ただし2歳時の成績を除く)

2025.2.16 京都 曇・稍重 芝2200m (国際) 特指

着順	馬番	馬名	性別	年齢	斤量	騎手	タイム (管差)	コーナー 通過順位	上り (600m)	馬体重 (増減)	単勝 オッズ	調教師	レーティング
1	①	ヨーホーレイク	牡	7	57	岩田望来	2:15.7	5-5-6-4	34.2	534(+20)	9.5⑤	友道康夫(栗東)	112
2	③	リビアングラス	牡	5	57	松山弘平	3/4	3-3-3-5	34.4	500(+4)	30.6⑥	矢作芳人(栗東)	110
3	④	マコトヴェリーキー	牡	5	57	北村友一	クビ	3-4-3-3	34.7	476(-4)	33.4⑦	上村洋行(栗東)	110
4	②	バビット	牡	5	57	高杉史朗	1/2	1-1-1-1	34.9	476(+10)	54.3⑧	浜田多英雄(栗東)	109
5	④	ソールオリエンス	牡	5	58	川田将雅	1/2	10-9-10-9	34.1	472(-4)	4.7②	手塚貴久(美浦)	
6	⑨	ブラダリア	牡	5	58	池添謙一	3/4	5-5-6-7	34.6	474(+4)	6.2③	池添 学(栗東)	
7	⑧	エヒト	牡	5	57	岩田康誠	1	7-7-8-7	34.6	466(-4)	83.7⑨	森 秀行(栗東)	
8	⑪	セイウンハーデス	牡	6	57	幸 英明	1/2	2-2-2-2	35.4	488(-2)	8.4④	橋口慎介(栗東)	
9	⑨	チェルヴィニア	牝	4	55	C.ルメール	1 1/4	7-7-3-5	35.3	500(+6)	1.8①	木村哲也(美浦)	
10	②	ブレイヴロッカー	牡	5	57	田口貴太	ハナ	7-9-8-9	34.8	464(+2)	210.2⑩	本田 優(栗東)	
11	⑤	フォワードアゲン	騾	5	57	古川吉洋	3/4	11-11-11-11	35.1	442(+2)	356.8⑪	加藤和宏(美浦)	
12	⑦	メイショウユズレハ	牡	6	57	西村淳也	2	11-12-11-11	35.4	508(+8)	198.1⑫	岡田稲男(栗東)	

単勝①950円(5<sup>kg</sup>) 複勝①350円(5<sup>kg</sup>) ③610円(6<sup>kg</sup>) ⑩750円(7<sup>kg</sup>) 枠連①-③8,400円(20<sup>kg</sup>)  
馬連①-③8,740円(20<sup>kg</sup>) ワイド①-③2,040円(22<sup>kg</sup>) ①-⑩2,140円(23<sup>kg</sup>) ③-⑩3,650円(28<sup>kg</sup>)  
馬単①-③18,250円(35<sup>kg</sup>) 3連複①-③-⑩30,700円(64<sup>kg</sup>) 3連単①-③-⑩188,230円(326<sup>kg</sup>)



- ### アラカルト
- ・岩田望来騎手は京都記念初勝利。JRA重賞は通算13勝目
  - ・友道康夫調教師はドウデュースで制した23年に続く京都記念2勝目。JRA重賞は通算72勝目
  - ・ディーブインパクト産駒はJRA重賞通算296勝目
  - ・7歳馬の勝利は22年アフリカンゴールドに続く通算3回目(年1回施行となった84年以降)
  - ・ヨーホーレイクの馬体重534<sup>kg</sup>は、11年トゥザグローリーの532<sup>kg</sup>を更新する本競走優勝馬の最高馬体重記録

# ヨーホーレイク Yoho Lake

牡 鹿毛 2018.3.19生  
北海道安平町 ノーザンファーム生産  
馬主・金子真人ホールディングス(株) 栗東・友道康夫厩舎  
馬名意味・カナディアンロッキーの湖

クロカミIRE系 F4-n

ディープインパクト 鹿毛 2002	サンデーサイレンスUSA 青鹿毛 1986	Halo
		Wishing Well
	ウインドインハーヘアIRE 鹿毛 1991	Alzao
クロウキャニオン 栗毛 2002	フレンチデピュティUSA 栗毛 1992	Burghclere
		Deputy Minister
	クロカミIRE 青鹿毛 1993	Mitterand
		Caerleon
		Milde

5代までのインブリード：Northern Dancer S5×M5×M5

## INTERVIEW

齊藤嘉隆 厩舎長(ノーザンファーム空港)

### 成長を遂げている証だと思いました

最近のレースを見ていると、行きつづりがよくなった一方で、気性の難しさもどかせるようになっていました。それを見越して陣営はハミを変えたり、調教でもリラックスさせて走らせたりにしてくれたことが、スローペースでもしっかりと折り合えた姿に現れていたと思います。プラス20kgという馬体重には驚きましたが、まだまだ成長を遂げている証だと思いました。

N.Inaba



いたヨーホーレイクの岩田望来騎手は5番手のインに収まり、ブラダリアがその外を追走。チエルヴィニアは2頭を見る形で中国を進み、ソールオリエンスはその2、3馬身後ろでじつくりと末脚を温存した。

スローの単騎逃げに持ち込んだバビットだったが、3コーナーの坂の下りに差し掛かると戦況は一変、3番手のマコトヴェリーキーが2番手のセイウンハーデスとともに前へ並びかけ、残り800m地点から急激にペースが上がる。ここで先行勢の直後に進出したチエルヴィニアが早々に手応えを失って後退したのに対し、馬群の内めで脚を溜めて坂を駆け下りた岩田騎手が追い出すと、ヨーホーレイクは力強い末脚を發揮。バビットとセイウンハーデスの間を割って先頭へ抜け出し、最内を突いて伸びてきたリビアングラスの反撃も抑えてゴールに飛び込んだ。

ホープフルS3着、皐月賞5着と早くから世代の一線級として活躍し、4歳1月の日経新春杯で重賞初制覇を果たした本馬だが、その後、屈腱炎を発生、2年余りの長期休養を余儀なくされた経歴を持つ。それでも昨年3月、戦列復帰にこぎつけると6月の鳴尾記念を差し切って復調をアピール。毎日王冠で7着に敗れた後、4カ月余りの休養を挟んで臨んだこの日は強敵たちを撃破して一段の進境を示し、GIのタイトルを射程に収めた。

## 父ディープインパクト

北海道早来町 ノーザンファーム生産 中央、仏14戦12勝(ジャパンC<sup>G1</sup>、他<sup>G1</sup>6勝)、年度代表馬2回、07年から供用、19年死亡。12~22年日本リーディングサイヤー。10~14、16~21年日本2歳リーディングサイヤー  
〔代表産駒〕ジェントルドンナ、コントレイル、他に<sup>G1</sup>勝ち馬多数

## 母クロウキャニオン

北海道門別町 和田農林(有)生産 中央9戦1勝、地方1戦0勝(兵庫ジュニアグランプリ<sup>G3</sup>3着)、23年用途変更

キラウエア(07 牡父キングカメハメハ)中央44戦5勝(灘S、昇竜S<sup>Op</sup>2着)  
**ボレアス**(08 牡父ディープインパクト)中央26戦3勝(レパードS<sup>G3</sup>、桜の木賞、いぶき賞<sup>Op</sup>2着、ユニコーンS<sup>G3</sup>3着)、障害1戦0勝、地方4戦0勝(ジャパンダートダービー<sup>JnI</sup>2着、浦和記念<sup>InII</sup>3着)

**マウントシャスタ**(09 牡父ディープインパクト)中央20戦4勝(白百合S<sup>Op</sup>、武庫川S、アルメリア賞、毎日杯<sup>G3</sup>2着、神戸新聞杯<sup>G3</sup>3着)

**カミノタサハラ**(10 牡父ディープインパクト)中央5戦3勝(弥生賞<sup>G2</sup>、ホープフルS<sup>Op</sup>3着、皐月賞<sup>G1</sup>4着)

**ベルキャニオン**(11 牡父ディープインパクト)中央23戦3勝(プリンシパルS<sup>Op</sup>、湘南S、共同通信杯<sup>G2</sup>2着)

パラダイスリッジ(12 牡父ディープインパクト)中央9戦1勝

**ラベンダーヴァレ**(13 牡父ディープインパクト)中央38戦4勝(鳥羽特別、チュウリップ賞<sup>G3</sup>3着)

クリアザトラック(14 牡父ディープインパクト)中央28戦4勝(江の島特別) フォックスクリーク(15 牡父ディープインパクト)中央19戦4勝(春興S)

クールウォーター(16 牡父ディープインパクト)中央11戦2勝

**ストーンリッジ**(17 牡父ディープインパクト)中央24戦2勝(きさらぎ賞<sup>G2</sup>2着、北九州記念<sup>G3</sup>3着)

**ヨーホーレイク** 本馬(18 牡父ディープインパクト)中央12戦5勝(京都記念<sup>G2</sup>、日経新春杯<sup>G2</sup>、鳴尾記念<sup>G3</sup>、紫苑賞、きさらぎ賞<sup>G2</sup>2着、ホープフルS<sup>G1</sup>3着、金鯱賞<sup>G3</sup>3着、新潟大賞典<sup>G3</sup>3着)獲得総賞金254,213,000円

**ダンテスヴュー**(19 牡父キングカメハメハ)中央16戦2勝(博多S、きさらぎ賞<sup>G2</sup>2着) ④

アラメダ(20 牡父ブラックタイド)中央10戦0勝

クルミナーレ(21 牡父ブラックタイド)中央12戦2勝 ④

キャニオンデシェイ(22 牡父ブリーディ)中央2戦0勝 ④

ウィロークリーク(23 牡父ブリーディ)

## 伝統の一戦に波乱を呼んだのは7歳古豪

伝統のGII・京都記念にはトバイシームクラシックへの遠征を予定しているチエルヴィニアが参戦。昨年度のJRA賞最優秀3歳牝馬にも輝いた牝馬二冠馬が圧倒的な支持率1・8倍を集め、2年前の皐月賞馬ソールオリエンス、連覇に挑むブラダリアがこれに続いた。しかし中心勢力と目された3頭は揃って敗れ、惑星候補と伏兵が上位を独占。波乱劇の主役を演じたのは7歳の古豪ヨーホーレイクだった。

前日の夜に降った雨の影響が残る、微妙に濡った馬場(稍重)を舞台に争われたレースは、軽快なダッシュで飛び出したバビットが先導役を務め、ゆつたりとした流れで進んだ。最内枠を引